

校正の流れ

1 預かったデータを自分のパソコンにコピーする



2 点訳資料製作支援に校正の回数と校正者名を入れる(P2 参照)



3 「本文編集ロック」にチェックをいれる(p3 参照)



4 校正箇所を選ぶ(p3 参照)



5 校正記録に必要事項を書く(p4 参照)



点字読みを含め、2,3 回は読んで、校正の是非や落ちがないかを確認する。

6 預かった USB にコピーして提出する

校正の資料

「点訳資料 校正基準 2015 年版」 特に、校正内容(p8~p13-7 行まで),
資料 7(p35~p37)

「点訳のてびき」、辞書・事典、点訳フォーラム

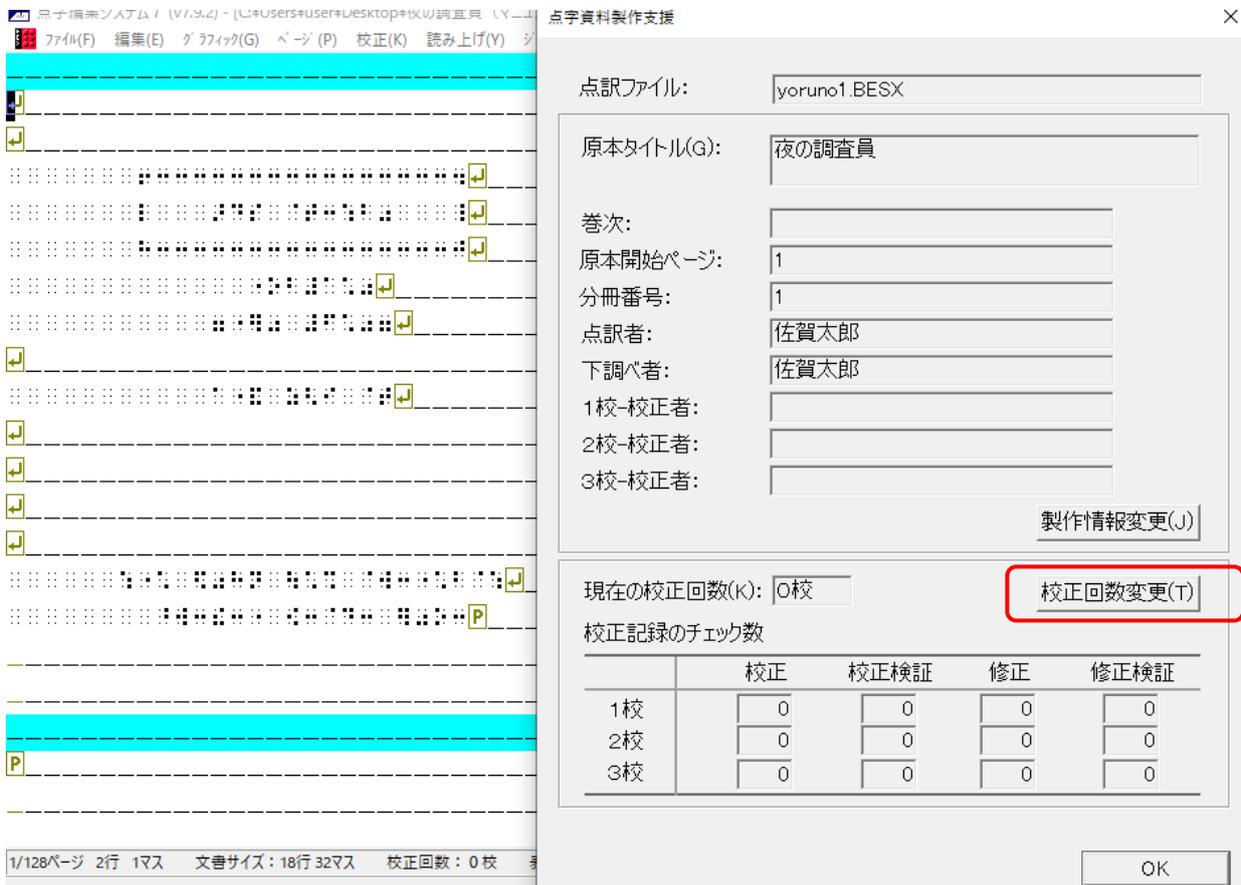
※点訳者は 1 校目・2 校目で指摘された箇所を訂正したあと、1冊を最初から最後まで通して読む。

→訂正ミスや、見出し等が行末に残ったり、訂正することによってページ数が変わったりする為。

〈校正の手順〉

1. 校正を始める前に

1. まず、USB のデータを自分のパソコンにコピーし、コピーしたデータで校正をする。
2. 校正する BESX のデータをダブルクリック。すると以下のようにトップ画面に点字資料製作支援の画面が出てくる。【校正回数の変更】をクリック。



3. 現在の校正回数【1校】を選んで「OK」を押す。一番下にある「OK」ボタンを押す。



4. メニューの【製作支援】の中の【本文編集ロック】を選ぶ。 → 誤って点訳を消さないように



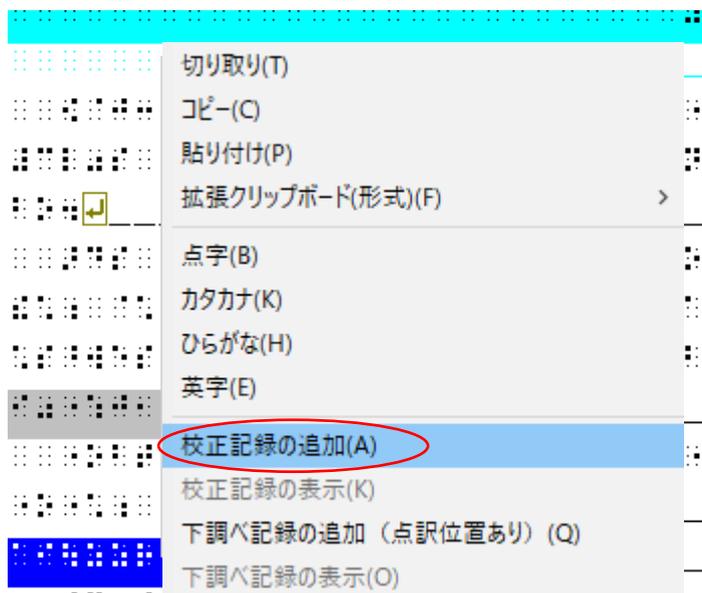
11. 校正をする

1. 青島町で アオシママチデ → アオシマチョーデ 訂正するには、間違ったところを一つの言葉(文節単位)で選ぶ。



※指定した範囲が違ったり、短かったり長かったりして範囲の修正が必要な場合は、正しい範囲をドラックし直して右上の位置修正を押すと、正しい範囲になります。

2. 間違ったところを選んで、マウスの右クリックを押す。【校正記録の追加】を選ぶ。もしくはメニューの【製作支援】より【校正記録の追加】を選ぶ。



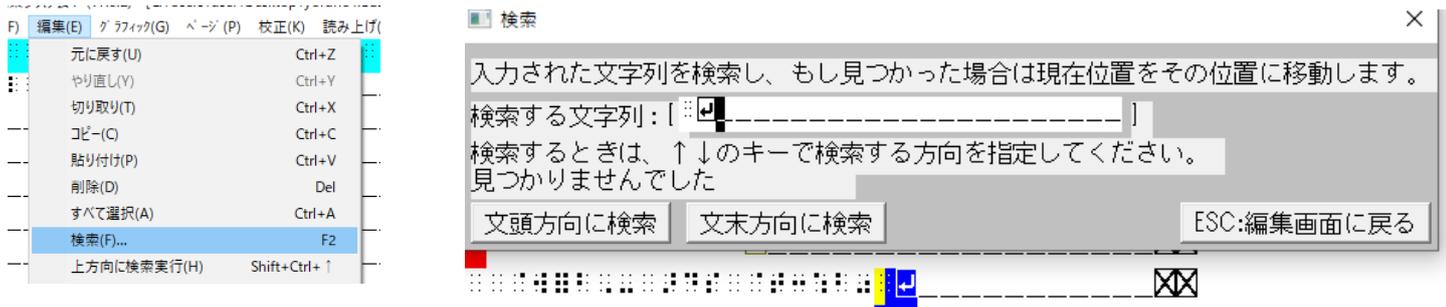
(校正になれてきたらこんなことも…)

•本文開始や奥付が奇数ページ始まりになっているか？ → 1ファイルごとのページ数は必ず偶数になります。

✗ 129/129ページ 6行 25マス 文書サイズ：18行 32マス

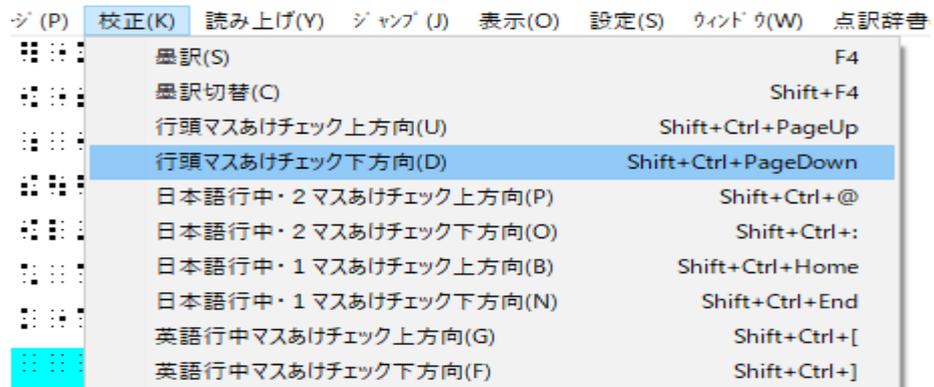
○ 128/128ページ 6行 25マス 文書サイズ：18行 32マス

•改行・改ページマーク前の不要なマスのアケはないか？ → メニューの【編集】の【検索】機能を使う。



•点字編集システムの【校正】機能を使って、行頭マスアケ、行中の2マス・1マスあけチェックができるので活用する。

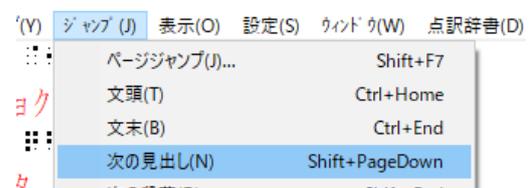
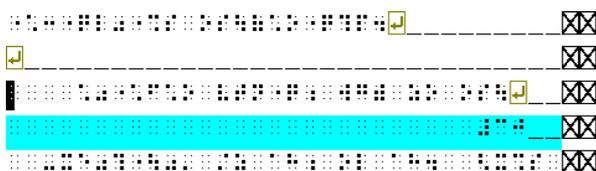
- 行頭マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+PageDown
- 行中2マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+:
- 行中1マスあけチェック下方向 → Shift+Ctrl+End



•見出しが2行以上になり、ページをまたいでいないか？

見出しだけがそのページに残っていないか？

次の見出し → Shift+PageDown



マスあけチェック

(参考)点字編集システムマニュアルより

行頭マスあけチェック

- 1.Shift+Ctrl+PageDown (PageUp)を押す度にカーソル位置から文末(文頭)方向に行頭のマスあけチェックを実行します。
- 2.行頭のスペースが奇数個になっている行の行頭にカーソルが移動します。

行中マスマスあけチェック(2マス)

- 1.Shift+Ctrl+:(@)を押す度に、カーソル位置から文末(文頭)方向にチェックを開始します。
- 2.行中および行末のスペースについて、句点・疑問符・感嘆符の後が2マスあけかチェックし、1マスまたは3マス以上のスペースの位置にカーソルが移動します。2マスあけでも直後に閉じ符号があればカーソルが移動します。

行中マスマスあけチェック(2マス)

- 1.Shift+Ctrl+End(Home)を押す度に、カーソル位置から文末(文頭)方向にチェックを開始します。
- 2.行中および行末のスペースについて、句点以外の後が1マスあけかチェックし、2マス以上のスペースの位置にカーソルが移動します。1マスあけでも直後に閉じ符号があればカーソルが移動します。

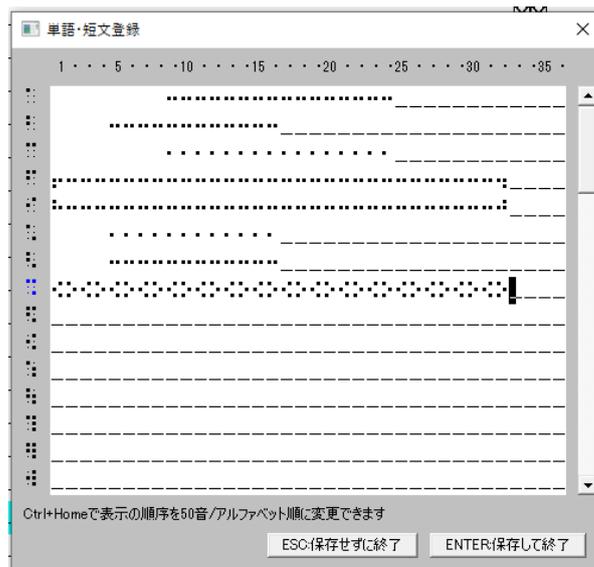
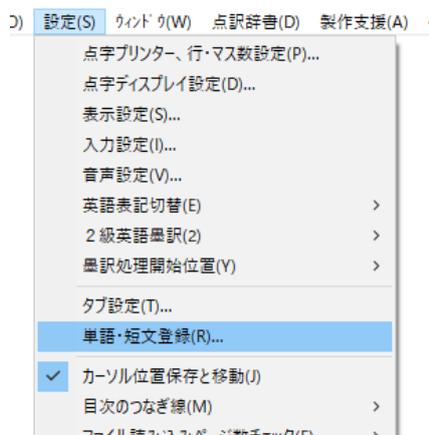
単語・短文登録(「設定」4「単語・短文登録」)

繰り返し使用される言葉は単語・短文登録しておくことと簡単に間違いなく入力することができます。全ての点字(63種)に対して登録ができます。

「設定」の「単語・短文登録」で単語・短文を登録する画面が表示されます。

・↑↓で文字列を登録したい点字の位置にカーソルを移動し、その文字で呼び出す文字列を入力します。

単語・短文登録の活用法



よく使われる「コタコタ(⠠⠠⠠⠠⠠⠠)」や、十数マスから数十マスに及ぶ棒線・点線など、また、特殊音を含んだりマス数の多い外国の固有名詞などを登録しておくこと、入力の際とても便利です。

点字編集画面に戻ったところでメニューの中の「編集」の中の「単語短文入力」を選択します(Ctrl+Spaceでも可能)。